

# 経営サプリメント



NPO法人フォレシア  
代表理事  
**佐藤 高輝**  
自身の不妊治療の経験から支援事業を開始。  
2003年 秋田県立工業高等学校卒業  
2012年 秋田市の設備会社を退社  
2012年 エクステリア事業を個人事業主として創業  
(現在も継続)  
2017年 NPO法人フォレシアを設立

## 不妊治療が原因で5人に1人が退職 ～不妊治療支援の有無が選ばれる企業の基準に～

私たちは不妊治療と仕事の両立、医療格差の問題を解決するために設立したNPO法人です。法人向けの福利厚生プログラムや、日本・世界中どこでも高い技術の不妊治療を行えるようにAI等を用いた遠隔医療の研究・開発を行っています。

## 日本・世界の不妊治療に対する福利厚生の状況

- 世界の主な取り組み Apple Facebook etc (卵子凍結、体外受精、養子縁組支援)  
日本の主な取り組み スカイマーク株式会社 (卵子凍結支援、不妊治療休暇、相談業務)  
パナソニック株式会社 (不妊治療休暇、フレックス制度)  
日本航空株式会社 (不妊治療休暇、フレックス制度)  
株式会社日立製作所 (不妊治療休暇、フレックス制度)  
株式会社NTTドコモ (不妊治療休暇、フレックス制度)  
株式会社サイバーエージェント (不妊治療休暇、フレックス制度) etc



一般社員の**42%**に上る人が、この不妊治療に関する福利厚生のメリットを受けるためなら転職してもよいと回答しています。

## そもそも不妊治療とは？4つの主な治療法

一般不妊治療	タイミング法 / 排卵日を診断して性交のタイミングを合わせる方法 人工授精 / 精液を注入器で直接子宮に注入する方法
特定不妊治療	体外受精 / 卵子と精子を取り出して体の外で受精させてから子宮内に戻す方法 顕微授精 / 顕微鏡を用いて卵子に直接精子を注入して受精させる方法



特に特定不妊治療に関しては約2週間、毎日通院しなくてはならないこともあり、職場の理解が必要不可欠です。

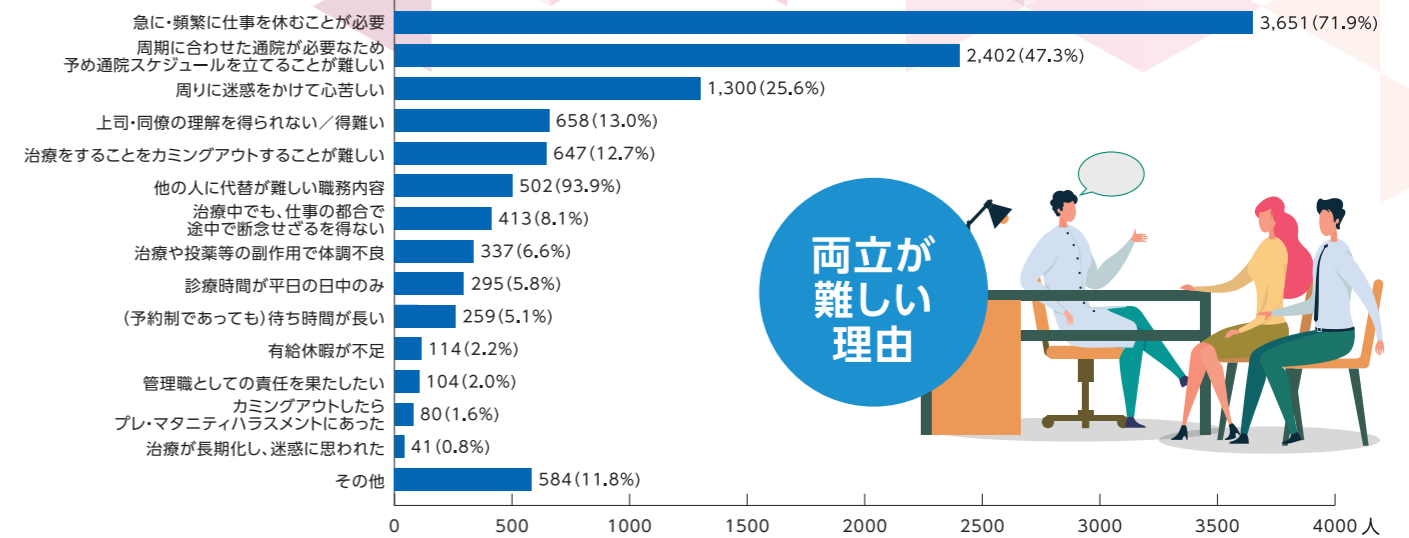
## 日本の不妊治療の現状



日本では、実際に不妊の検査や治療を受けたことがある(または現在受けている)夫婦は**5.5組に1組**と発表されています。

また、2017年に体外受精によって誕生した子どもの数は5万6617人。これは日本全体で誕生した子供の**16人に1人**の割合になります。

## 仕事との両立が困難との回答は96%、その結果5人に1人が退職

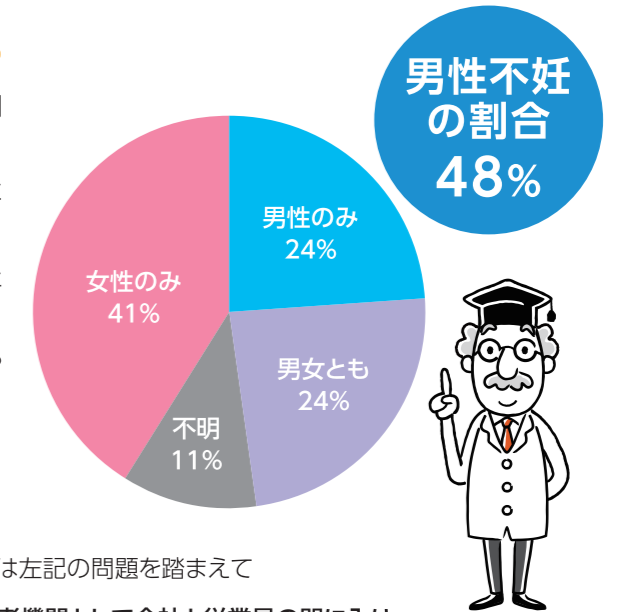


## 男性が原因の不妊は全体の48%

不妊の原因は、女性だけではなく、男性にも約半分の割合で原因があるのです。

しかし、実際に治療となると、それに伴う検査や投薬など女性に大きな負担がかかっています。

私たちは男性に対しても精液検査や不妊治療を周知することで、もっと男性が当事者意識を持つことが大切だと思っています。それにより会社全体での不妊治療への理解を深め、制度の設置や利用を促していきたいと思っています。



## では、どうすればいいの？

会社側の問題として

- 不妊治療の知識がないので制度設計ができない
- 女性社員に直接確認することが難しい
- 継続して制度を維持できるかわからない

従業員側の問題として

- アンケートに正直な意見を書きにくい
- 上司が男性なので相談しにくい
- 担当部署を創ったとしても、結局は会社内なので言いにくい
- 部下を抱えていると自分からは会社に言いにくい

私たちは左記の問題を踏まえて

- ①第三者機関として会社と従業員の間に入り、アンケートや面談を実施。
- ②それを元に各企業に応じた制度設計を作り、その後の相談業務や制度利用をサポート。
- ③当団体が運営予定の求人サイトで、不妊治療や育児等の福利厚生が整っている企業を「従業員の未来に寄り添える企業」として全国に発信。

それにより、今の社員と未来の社員に対して貢献します。より詳しい支援内容については次回掲載予定ですが、ご相談したい企業様は是非ご連絡ください。